

# 宮城 女川町に無料夜間塾

東日本大震災で壊滅的な被害が出た宮城県女川町の小学校で今月、小中学生向けの夜間塾「女川向学館」が開校した。月謝は無料で、授業は土日も含め毎日開かれる。避難所や仮設住宅など落ち着かない環境で勉強する子どもたちに学習の場を確保しようと、NPOが立ち上げた。

家庭に仮設住宅が立ち並び、校舎の一部が避難所に

なっている女川第一小。午後7時、1階の教室では中

すい。ここに通い始めて後7時、1階の教室では中ストの点数が上がりまして、避難所や仮設住宅などから通えるよう、バス2台での送迎もある。女川町では震災後、11ありで、あちこちから「先<sup>2</sup>った塾が一つになった。町生、分らない」と手が挙<sup>7</sup>は当初、小中学生の自習の場として放課後の教室を開

数学が苦手という中村葵さん(13)は「すぐ先生に質問できるし、授業のペースがゆっくりなので分かりや

## NPO子どもの学習の場確保

者)という。

こうした声を受け、高校生向けのキャリア教育に取り組むNPO「カタリバー(東京)が、町に塾の開校を提案した。

運営費を個人や団体の寄付で賄い、被災した地域の塾講師を雇った。応募した児童生徒約180人が通う。高校生にも広げる考えた。

女川町教育委員会の担当者「学校や塾の枠を超え、地域全体で教育に関わる場になりたい」と話している。

開校した夜間塾「女川向学館」で勉強をする子どもたち(19日、宮城県女川町の女川第一小)

